

定例教育委員会会議録

(令和元年8月5日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会

日 時 令和元年8月5日(月)
午後1時30分
場 所 601
署名委員 藤森委員、小平委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 報 告

1. 岡谷市子ども読書活動推進会議について【資料 No. 1】 (生涯学習課)
2. 岡谷市議会6月定例会一般質問要旨について【別添資料】 (各課)

○ 議 題

1. 令和2年度から使用する岡谷市立小・中学校の教科用図書の採択について
【別添資料】 【非公開】 (教育総務課)

○ その 他

- ・行事等について (各課)
- ・その他

【次回開催予定】 9月 5日(木) 定例教育委員会 9時30分 美術考古館

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

事務局(説明員)

教育部長 城田 守、教育部教育担当参事 三村 靖夫、教育総務課長 両角 秀孝、
教育総務課主任指導主事 竹内 良之、生涯学習課長 小池 秀昭、スポーツ振興課長 小河原 義友、
教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主査 保科 圭吾

<会議録>

○開 会

岩本教育長： 皆さんこんにちは。8月に入りましたが、相変わらず暑い日が続いています。そんな中、今朝、市内4中学校の2年生20名が広島へ平和記念体験研修に元気に出発しました。道中片道8時間くらいかかる長旅になりますが、きっと良い研修をしてきてくれると思っています。とはいえ、昨日も37℃の猛暑と聞いておりますので、勉強も大事ですが、元気に帰ってきてくれることを1番願っています。私達も暑さに負けずに良い定例教育委員会にしたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、8月の定例教育委員会をはじめますが、草間職務代理者さんは、県の会議で長野市へ出張のため、戻り次第出席となります。本日の署名委員は藤森委員さんと小平委員さんをお願いいたします。最初に私から教育長報告をさせていただきます。

○教育長報告

本日は、教育総務課関係3件と生涯学習課より1件報告をさせていただきます。

1. 岡谷市教職員（悉皆）研修について

去る7月26日（金）に岡谷市教職員研修が開催されました。平成23年に始まった、この悉皆研修会も、今年度で9年目となりました。

立ち上げ当初の研修内容は、参加者が講話や講義を聞いて、その内容をインプットしていくことが主でしたが、回数が進むにつれ、その年の全体研修テーマに即した基調提案や事例発表が盛り込まれるなど、日々の実践を基にした内容へと進化していきました。また近年は、それらの実践発表を基にしたグループ熟議や、学年・教科別の分科会を取り入れるなど、参加者が自らの考えや思いをアウトプットしていく研修へと形を変えています。尚、全体講師である福井大学副学長の松木健一先生のご講話から、未来へと踏み出していく学びの有り様や、子どもと共に歩む教師の道ゆきなど、多くのご示唆をいただくことも、この研修会の有意義なところとなっております。

このように、毎年、内容が更新されている教職員研修会ですが、今年度も新しい内容が取り入れられています。まず、熟議のグループ数が、昨年度の30から36へと増えました。これにより1グループの人数が少なくなり、より深い熟議が可能となりました。その分、熟議のファシリテーターを務める中堅教員の先生がたくさん必要になるわけですが、そこは事前に中堅教員研修を行い、各校のミドルリーダーである先生方の研鑽と意識づけを図ってまいりました。それにより人材育成としての視点を広げることができました。

また、これまで小中別に行っていた午後の分散会が小中合同の教科別研修会になりました。このことは、小中の連携機会の一つとなりました。

そして、実践事例の発表者からは、福井大学のラウンドテーブルという全国から多校種の先生方が集まる研修会に参加したことによって自らに起こった意識の変化をきっかけとして、自らの学級経営を顧みる事例が発表されました。岡谷市の研修体制が地域をまたいだものになってきていることを感じることができました。

この9年間で、岡谷市の教職員研修は点から線、そして面へとつながりを見せています。教職員研修会に参加している先生方のキラキラとした表情を見ても、この研修が受け身的なものではないことが伝わってきます。先生方の研修が、まさに新学習指導要領が求める、「主体的・対話的で深い学び」になっていることが伺えました。このように、岡谷市の教職員研修のサイクルが確実に回ってきたことを報告させていただきます。

2. 「やってみよう！おかやキッズラボ」について

夏休み期間中の7月29日（月）、30日（火）に新規事業として長地支所で実施いたしました「やってみよう！おかやキッズラボ」についてご報告いたします。

この事業は、夏休み中の小学生を対象に、学習意欲維持や高揚を図るとともに、学力向上を目指すことを目的に、湊・川岸・長地の3つの支所にて学習支援を行うものであります。

昨年度実施しました、おかやコドモテラスと合同で開催し、1日目は、学校から出された課題などに取り組む

「学びテラス」を、また、2日目は、元教員の方に先生をお願いし、理科実験を通して学べる「わくわく科学教室」と、地域のボランティアの皆さまに作っていただいた夏野菜カレーを食べる「フードテラス」を実施するものであります。

初回の長地支所では、20名定員のところ12名の申し込みがあり、当日は10の参加がありました。

「学びテラス」では、中学校で実施している「岡谷子ども未来塾」で講師をしていただいている地域の皆さまに関わっていただき、参加した子ども達の自主性を大切にしながら、学習支援に取り組んでいただきました。

参加した子どもたちからは、「宿題でわからなかったところを見てもらえて嬉しかった」とか、講師の方々からは、「普段は中学生の支援をしているが、小学生は可愛くて、反応もいいので、自分たちも支援していても楽しかった」というお話をいただきました。

「わくわく科学教室」では、屋外に出て、洗面器に水をはり、手鏡を使って太陽との角度を調整し、壁に虹を映し出したり、空中に霧吹きで水を吹き付け、虹を作ったりして、楽しみながら理科学習に取り組みました。参加した子どものひとは「こんなに簡単に虹が作れるなんてとてもびっくりしました」と目を輝かせながら話していたそうです。

今日の午前中は川岸支所で1日目の学びテラスを実施いたしました。明日6日は、2日目の「わくわく科学教室」がありますし、7日・8日は湊支所で開催されますので、委員の皆さま方も、都合がつけば参観していただきたいと思っております。

3. 部活動指導員の配置について

部活動指導員の配置については、5月の定例会の時にも報告させていただきましたが、教職員の働き方改革の一環として、現在までに、岡谷東部中学校の吹奏楽部と岡谷南部中学校の男子、女子バレーボール部に指導員を配置しております。

新たに、7月31日（水）より岡谷西部中学校の卓球部においても、部活動指導員2名を配置することができました。この2名は、岡谷市役所の卓球部に所属している市の職員であり、土日など休日を中心に指導をしていただく予定です。

残りの岡谷北部中学校についても、現在、適任者を探しておりますが、なかなか見つからない状況でありますので、今後は、ホームページや広報おかや、新聞の広告掲載等を行いながら幅広く公募していきたいと考えております。委員さんにもお知り合いの中で合唱の指導ができるような方がおりましたら、是非ご紹介をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

4. 夏休み子ども交流事業について

8月1日、2日に夏休み子ども交流事業で、今年は東伊豆町から稲取小と熱川小の5年生61名が岡谷市へ交流にやって来ました。岡谷市からは小学5・6年生18名と中学、高校生のリーダーズ倶楽部26名の合計44名でお迎えをしました。天気予報では夕立や局地豪雨が予想されていましたが、子どもたちの熱意や活気が、雨雲を吹き飛ばしたと思わせるほど、雨もほとんど降らずに、1日目は、やまびこスケートの森でのスケート体験や、宿泊場所である塩嶺野外活動センターで野外炊飯やレクリエーションを楽しみ、2日目は、シルクファクトの見学をし、怪我もなく、無事に2日間を終えることができました。はじめは、ぎこちなかった子どもたちも、すぐに打ち解けて、友達ができたり、互いに協力し合う場面も随所でみられたり、2日間を通して、意義のある交流ができたかと思っています。

岩本教育長： 教育長報告は以上です。この件に関わって何かご質問等ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは、いつもは、ここで議事に入りますが、順番を変えて報告事項に移りたいと思います。

○報 告

1. 岡谷市子ども読書活動推進会議について (生涯学習課)

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市子ども読書活動推進会議の内容について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。
ちなみにビブリオとはどんな意味ですか。

事務局： ラテン語に由来する言葉で、本や書物という意味です。

岩本教育長： 私もユーチューブで見ましたけど、すごいですね。圧倒されました。本当に思考力、判断力、表現力、そして、豊かな感性。これから新しい学習指導要領で求めているような学力がビブリオバトルの中にすべて出てくるのではないかなと思います。中学生がどの程度のレベルで出来るのかという部分は、まだまだ未知数ですが、中学生でも十分可能ではないかなと思います。また、委員の皆さんがどのような形でビブリオバトルをやっていくかというところを詳細にわたって検討していただけたらと思っていますが、教育委員の皆さんもご意見等ございましたら、積極的にお出しただけたらと思っています。それでは、報告事項2へ移ります。

2. 岡谷市議会6月定例会一般質問要旨について (各課)

岩本教育長： 報告事項2について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市議会6月定例会一般質問要旨について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

高木委員： 教育総務課の大塚議員の質問についてですが、「小学校における一部教科担任制」について、もう少し具体的にお聞きしてもよろしいですか。

事務局： 旧岡谷小学校で行っておりまして、ちょうど教育長先生が校長先生の時に実際にやってみたらどうだという話があり、実施しました。音楽専科や理科専科は教科担任でやっていましたが、それ以外で図工と家庭科と社会科で、例えば、社会科が専門の先生が、隣のクラスの社会科を持って、そのかわりに隣のクラスの担任は、家庭科が専門なので、そのクラスの家庭科をみてもらうという感じで、その先生の専門性だったり、得意分野というところで授業を組み換えて行っていく。これによって学年の子ども達をたくさん目で見えるという良さや、先生方の専門性をフルに生かしていけるというところで、全部の教科は厳しいですが、できる教科をできる範囲で行って行って、現在も岡谷田中小学校で行っております。

高木委員： 行ってみて、先生方の感触はどんな感じでしょうか。

事務局： 授業を組み換える手間はありますし、小学校の授業は割と柔軟といえますか融通が利くようにやっていますが、それが利かなくなるので、きちっとした時間割りを組む大変さはありますが、それ以上に全員でチームとして子ども達を見ることができるとい部分だとか、良い部分や問題点も含めて隣のクラスや自分のクラスの抱えているものを共有できるので、チーム意識であったり、同僚性の高まりや子どもの学力の底上げも生まれます。ただ、担任の先生を持つ専門性によって授業量に差があるので、そういった部分の兼ね合いもあって、お互いに切磋琢磨していかないと難しい部分も出てくるので、そこが一つの課題かなと思っています。

高木委員： 今、お聞きする中で、先生方の準備の大変さはあると思いますが、子ども達にとっても自分の担任の先生だけではなくて、隣のクラスの先生に教えてもらうということは良いことだと思いますので、1年通してというのはとても大変だと思いますが、できる範囲で各学校で取り組んでいかれるといいなと感じました。

岩本教育長： 最近は、担任の先生の力の差で、学級崩壊や色々なことも起きうる可能性があります。それを防ぐためにチームで学年の先生達がお互いに協力し合って、皆の力でそれぞれの子供達を見ていくというシステムが小学校では特に必要かなと思っており。各学校の校長先生達には、是非、教科担任制というものを前向きに捉えていただいて、これから検討して欲しいという要請をしておりますので、徐々に広がっていくのではないかなと思っております。

太田委員： 私も是非、推進をしていただきたいなと思います。ただ、形は色々あるのかなという感じもしますので、複数担任制という枠組みで捉えた時に一つの枠組みになるのかもしれませんが、今、教育長先生がおっしゃったように、最終的な目的はチームで先生方が子供達に関わっていくことで、先生方が連携して、問題のあるクラスに対して担任の先生だけではなくて、他の先生も主体的に協力ができるような形が取れば、学校全体にとっても、子供達にとっても良い影響があると常日頃感じています。そんな方向性の中で、岡谷独自のそういうものを目指していけば、十分可能性があるのではないかなと思いますので、少しずつでも何か進めていただければと思います。

岩本教育長： 後押しをしていただきました。ありがとうございます。

小平委員： 遠藤真弓議員の質問のところで「子どもの権利について」という質問項目がありまして、大変良い質問をしてくださっているなと思っていて、いじめ根絶子ども会議についても大変評価してくださっていて、私も拝見させていただきましたが、とても良い取り組みだと感じています。それで、相談窓口をたくさん作るということが大人ができることかなと思っていて、教育長先生も一人も漏らすことなく何かあった時は救いたいということをおっしゃっていたのをお聞きしましたし、教育委員会としてもそういう対応でいくべきということで、大変良い意識で向かっているなというところは感じています。具体的ところで、色々相談窓口などを整備されていて、「おかやキッズラボ」の中の悩み相談テラスという取り組みは、窓口がここにもあって、とても良い取り組みだと感じています。どんなふうに子どもが相談するようになっているのでしょうか。

事務局： この取り組みは、昨年、福祉サイドで立ち上げた取り組みで、昨年度は、お母さん方からの相談が何件かありました。あとは、当初申し込みはなかったんですが、参加していたお子さんから自主学習をしている時にクラスでの状況等について相談を受けたということがありました。ただ、今年については、教育委員会と切り離して、子ども課の方で悩み相談の窓口を設けていますが、今のところはないと聞いております。

岩本教育長： それでは、報告事項は以上とさせていただきます。次に議事に入りたいと思います。

○議 題

1. 令和2年度から使用する岡谷市立小・中学校の教科用図書の採択について（非公開）（教育総務課）

<令和2年度から使用する岡谷市立小・中学校の教科用図書の採択について事務局より説明し、承認される。>

岩本教育長： 議題は以上となります。

それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

・その他

岩本教育長： それでは、事務局より次回の開催予定についてお願いします。

<次回開催日の調整>

岩本教育長： それでは以上をもちまして、8月の定例教育委員会を終了とします。

終了15時00分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

令和元年9月5日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

藤森 俊

署 名 委 員

小平 陽子

調 製 職 員

城田 守